

～使命の実現～

2015年11月10日発行 11月号 No. 249

◇国土交通省関東運輸局自動車交通部長 山本英貴



国土交通省関東運輸局自動車交通部の山本と申します。

平素よりロジ研の皆様には、国土交通行政に対し格別のご理解とご協力を賜りまして、心から御礼申し上げます。

さて、トラック運送業においては人手不足が深刻化しており、景気回復のアキレス腱にもなりかねないことから、物流の効率化が求められています。この業界に顕著な長時間労働を抑制するため、管内各都県においてトラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会が設置されました。この協議会において、実態に即した具体的な改善策を検討することになります。その際には、ロジ研の皆様のご知見をお借りすることにもなるかと存じますので、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

平成27年4月1日付で、関東運輸局自動車交通部長に就任。大阪府出身、早稲田大学卒業。平成8年運輸省入省。在フランス日本国大使館一等書記官、大臣官房総務課企画官を経て、26年航空局航空戦略課国際企画室長。

◇物流経営士課程「先輩経営者と語る」

副本部長・物流政策委員長 大島 弥一
〔新宿支部 大島運輸(株)〕

11/7(土)トラックフェスタでへろへろになった体にムチを打って、同日に葉山で行われている物流経営士の宿泊研修にコーディネーターとして参加してきました。

第6期を受講していた私からしてみたら、あれから10年、受講者は経営者1割弱と、だいぶ構成も変わり、担当した10名のグループは25～58歳と幅も広く、私が「先輩経営者と語る」というには非常に荷が重い雰囲気でした(;^_^A しかし始まってしまえばこちらのペース、自己紹介と自社や自身の課題というテーマを投げ、集まって間もないメンバーの交流をメインに活発な意見を出し合えたと思います。

副本部長・研修副委員長 林 秀行
〔墨田支部 (株)ハヤシ配送サービス〕

去る11/7(土)に第16期物流経営士課程テーマ「先輩経営者と語る」という研修に講師として参加してきました。

私自身も第8期卒業生でしたので受講生の緊張を解す役割を担い、グループ討議をいたしました。今回のグループは、年齢が20代から50代までと幅が広く経験も様々でしたが同業者ということでき、打ち解けることができ、交流会でも場が和やかな雰囲気の中、時間が経過していきました。

副本部長・広報副委員長 武井 一憲
〔文京支部 (有)武井物流〕

第16期物流経営士課程で行う、グループ討議のコーディネーターを昨年に続き今年もさせていただきました。私自身も7年前の第9期に物流経営課程を修了しましたが、意欲に沸く受講生の顔を見ますと、その時の自分とを重ねていろいろと感慨深い思いになります。

さて、肝心の討議の内容ですが、テーマを自社の強みと弱みにして受講生各自に発表をしてもらい、その内容をもとにディスカッションをしていきました。

様々な強み弱みが出た中で、興味を引く内容がありましたのでご紹介します。

現在、人材を確保するのに各社ともいろいろな媒体や方法を駆使して求人を出していると思いますが、討議の中で出てきた求人方法で、教習所に求人案内を置いて貰っているという話が出ました。主に中型限定、大型免許を教習できる所に置いているそうです。

最近の求人問い合わせでは、教習所に置いてある案内を見て連絡をしてきた人が多いと言っていました。

このように、新たな知識を知れる、そして同じ悩みを夜遅くまで議論できる、このような研修会にまた参加できる機会を頂ければと思っています。



【研修風景(右正面が大島氏)】

◇「フェスタから見える各支部運営」

来年、東ト協50周年を迎えるに先立って、事故防止大会を兼ねた東京都トラック協会フェスタが11/7(土)に大田区平和島において開催された。これは来年の十月末に代々木公園で開催されるフェスタへの試験的目的を兼ねて、大田支部主催の催し物に相乗りをした形で行われ、規模的な事も有って動員人数も集まり、概ね大成功に終わったのではと感じられた。

我がロジ研からも実行委員に数名を要請され、委員会発足時から関わっている。会議後の懇親の席では・・・「代々木公園で開催する以上は会員の動員がどれだけ集められるか?」「集客をどれだけ増やせるか?」「支部ごとに本部への協力体制に温度差がある」「会員にどれだけ周知と関心を図れるか」等、当初より来年の課題が議論されていた。

今年は、規模も来年開催から比べれば、約1/4と言う事も有り、参加者の動員も潤沢で有った。反面、動員が少ない支部が有った事も否定はできない。今期から支部活性化(内部化)が決まり、各支部の立場がオフィシャル化された訳だが、ある意味において、支部長、支部会員の認識を変えて行くことが、来年のフェスタ開催成功か否かの課題であると思われる。

つまり、支部の大小に関わらずに各支部長のリーダーシップ、実行力が問われる以上、改選期を迎える来季には各支部の動員状況で支部の運営状況が測られると言う事に成ると考えられる。普段より要望する運賃、超過勤務(60時間超え)、地位向上等の課題を解決するためにも東ト協全体の意見統一や協力体制など、全支部が力を合わせる必要があると考える。

＜ロジ裏 研ノ介＞

◇スケジュール《○ロジ研行事予定》

○11/14(土)～15(日)温故創新セミナー(滋賀・近江)

○12/7(月)17:30～正副幹事会合同会議

(小田急行池ノ子駅21F)

○ " 18:00～ロジ研忘年会(同所)

12/14(月)16:00～三組織連絡会(東ト総合会館6中)

○12/18(金)17:00～本部連絡会 江森副会長(東ト総合会館6中)